

## 国際基督教大学(学部入学定員:620人)

### 【構想の概要、育成するグローバル人材像】

本学が育成を目指すグローバル人材像は、以下のような資質を備え、地球市民として21世紀の世界を生き抜くことのできる人材である。  
 (1)個人の尊厳を重んじ、多様性を堅持する。(2)地球全体の環境の中で個人や集団の活動を包括的に把握し、地球益(global interest)に配慮しつつ、複合的な要因を持つテーマ(開発・人権・平和・生命等)に取り組む。(3)あらゆる状況や問題の背景と本質を迅速に把握し、将来を見据えて判断する。(4)情報を分かち合い、目的意識を共有することによって、協働する人々と緊密な関係を構築する。(5)相手の心をつかむような効果的な手段を用いて、コミュニケーションを図る。(6)異質な人々の意見を集約し、リーダーシップを発揮して集団をまとめる。

### 【構想の目的】

世界を舞台に人類の平和と共存に実践的に貢献できる人材を育てるという本学の教育目標を、さらに高いレベルで実現することを目的とし、1.英語運用能力のさらなる伸長、2.英語開講専門科目履修を通じた情報発信能力(ライティング)の涵養、そして3.教育目的達成の具体的検証としての単位取得を伴う海外留学、の3点を柱に、本学の教育理念を体現した人材を世界に送り出すことを目指す。

## ■大学のグローバル化に向けた戦略と教育課程の国際通用性の向上

### ○ 本学におけるグローバル化推進の位置付け

本学は日本で初めて大学名に「国際」を冠し設立された大学であり、国際化推進は大学の存在意義そのものである。開学以来、三つの使命の一に国際性を掲げ、この理念を実現すべく、本学はさまざまな取組を通じて大学のグローバル化を先導してきた。

#### 1. 教育課程の国際通用性向上のための取組

- 日本語・英語のバイリンガリズムを基盤とするキャンパスのグローバル化
- コース・ナンバリング及びGPA制の導入とその活用
- 少人数教育を通じた自発的学修者の育成、アドヴァイジング・システムの構築

#### 2. 戦略的な国内外への教育情報の発信

- 冊子やホームページ、グローバル5大学との連携を通じた教育情報の戦略的発信
- 日本国際基督教大学財団(在ニューヨーク)による広報、学生募集、アドヴァンスメント活動

#### 3. 事務体制のグローバル化

- 外国人教員や海外からの留学生に関わる業務のサポートを学内の全部署で遂行できるようスタッフを配置



本構想においては、本学のグローバル化の質をさらに向上させることを目標とする。換言すれば、グローバル化の地域的及び学問的な広がりを進展させることを目指す。これにより、教員と学生のグローバル化を一層推進する。

## ■グローバル人材として求められる能力を育成するための取組

リベラルアーツ英語教育プログラム(ELA)を履修する学生がプログラムを終了する際に、留学許可判定に使用される英語運用能力試験(IELTS)の受験を課し、学生のプログラムを通じた成績の推移や終了時における達成度を測定するとともに、ELAプログラム自身の分析や評価を行う。

### 1. 英語運用能力のさらなる伸長

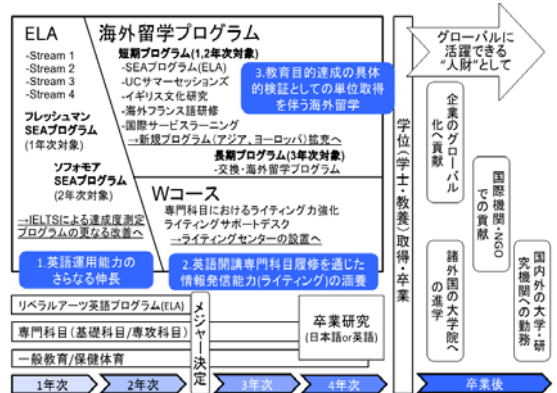
リベラルアーツ英語教育プログラム(ELA)履修学生に、諸外国大学の留学許可判定に使用される英語運用能力試験(IELTS)の受験を課すことで、プログラムの目標達成度を確認すると同時に、留学への動機付けを行う。

### 2. 英語開講専門科目履修を通じた情報発信能力(ライティング)の涵養

「学術論文を英語で正確に書く能力」を養成するため、英語で開講される専門科目の中に、英文レポート作成の指導を手厚く行う科目(Wコース)を設置し、専門科目担当教員の他に、学生の英文レポート作成を支援するチューターを配置する。

### 3. 教育目的達成の具体的検証としての単位取得を伴う海外留学

学生が真のグローバル人材として成長したか否かは、海外大学で現地学生と共に授業を履修し、議論に参加し、レポートを提出して成績の評価を受けるというプロセスにより確認できる。本学の単位取得を伴う海外留学プログラムの内容・時期・期間を更に多様化し、学生が参加しやすい環境を整備する。



## ■語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

### ○ ELAによる効果的な英語教育の実施

入学時のプレースメントテストの結果に基づき4つの習熟度(Stream 1-4)に分かれ、徹底した習熟度別カリキュラムにより、学生により適切な学習環境と指導を提供することを可能としている。全員がResearch Writingという論文作成の方法を学ぶ科目も履修する。また、専門科目担当教員の他に英語による論文作成指導を行うチューターをつける科目を「Wコース」として設置し、専門分野に相応しいライティングの力を養うと同時に自信をつけ、学生が卒業論文を英語で作成することの動機付けとなることを目指す。

## ■教員のグローバル教育力の向上

### ○ 教育体制のグローバル化

教員の採用については、今後も、全て国際公募を原則とし、博士号・本学の教育目的に合致した教育能力、優れた教育の基盤となる研究業績に比重を置いた審査を続けることに加え、教育能力向上の機会として、交流協定を締結している諸大学との間で、「教員交換制度」を計画している。

## ■日本人学生の留学を促進するための環境整備

### ○ 動機付けや留学を促進するための取組

本学では卒業までの4年間に様々な海外留学の機会があり、入学式直後のオリエンテーションにおいて、いつどのような留学をするのが自分にとって最適か選べるように、各プログラムの趣旨や特長について説明している。今後は多様な留学プログラムを展開していく中で、それぞれのプログラムの特長がより明確に分かるよう、Websiteなども活用し、情報発信の充実に努める。

**卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力**

**(1) 英語運用能力のさらなる伸長**

本学では、英語そのものを単体として学ぶのではなく、大学教育本来のリベラルアーツにふさわしい形態と内容的な連関をもって学ぶ、というコンセプトのもとに、「リベラルアーツ英語プログラム」(ELA: English for Liberal Arts Program)を提供している。このプログラムを通して、学生が英語によるアカデミックスキルを身につけて本学の英語開講科目を履修し単位を取得できるようになることと在学中などに海外の大学へ留学して単位を取得できるようになることを目指し、本構想においては、学生が修得すべき能力として、諸外国大学の留学許可に際して判定に使われる「総合点 6.5」という数字をその目標水準としている。

**(2) 英語開講専門科目履修を通じた情報発信能力(ライティング)の涵養**

グローバル材として世界に貢献するためには、幅広い教養と深い専門性に裏打ちされた自身の考えを構築し、それを適切に表現する情報発信能力が不可欠である。本構想においては、書き言葉による情報発信能力の向上を主要な学習目標の一つに据えた科目(Wコース)を設置し、「英語で書く能力」を養う。全学生が卒業論文を作成する卒業研究でも、英語による論文作成が強く奨励されており、Wコース導入による英語で卒業論文を作成する学生数の増加を目指す。

**(3) 教育目的達成の具体的検証としての単位取得を伴う海外留学**

学生が真のグローバル人材へと成長できたか否かは、海外の大学で実際に英語の授業を受け、ディスカッションに参加し、レポートを提出して成績の評価を受ける、というプロセスによりはじめて確認できる。これは、本学の教育の成果が第三者機関による客観的評価を得ることに他ならない。本構想では、海外留学プログラムの内容や時期・期間を多様化することにより、さらに多くの学生が留学できる環境の構築を目指す。

**本構想において実現する達成目標**

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016	
外国語力スタンダードを満たす学生数				255人	275人	293人	303人	
うち海外留学未経験者数(A)				91人	73人	82人	85人	
海外留学経験者数(B)		307人	320人	337人	375人	383人	392人	
卒業[予定]者数(C)		691人	690人	650人	650人	650人	650人	
比率((A+B)/C)				65.8%	68.9%	71.5%	73.4%	
4 月 入 学 者	卒業時の外国語力スタンダード	IELTS 6.5		180人(36)	200人(23)	218人(32)	228人(35)	
	海外留学経験者数	295人	305人	317人	350人	358人	367人	
	3 カ 月 未 満	3 カ 月 未 満	242人	211人	222人	257人	260人	264人
		3 カ 月 ～ 1 年	53人	94人	95人	93人	98人	103人
		1 年 超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	卒業[予定]者数		611人	610人	575人	575人	575人	575人
9 月 入 学 者	卒業時の外国語力スタンダード	IELTS 6.5		75人(55)	75人(50)	75人(50)	75人(50)	
	海外留学経験者数	12人	15人	20人	25人	25人	25人	
	3 カ 月 未 満	3 カ 月 未 満	7人	2人	3人	3人	3人	3人
		3 カ 月 ～ 1 年	5人	13人	17人	22人	22人	22人
		1 年 超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	卒業[予定]者数		80人	80人	75人	75人	75人	75人

※1)「外国語力スタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語力スタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2) 上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。